

釧路ふるさとカルタの遊び方・ルール

- ① チーム構成は1チーム3名とし、札は44枚ずつ分ける。
- ② 始めと終わりには、お互いに「礼」をかわす。
- ③ ゲームは、チームの持ち札が早く無くなった方を勝者とするが、役札ルールを採用の場合は点数の計算となる。
- ④ 大会形式は団体競技とする。
 - 小学校低学年の部 小学校中学年の部 小学校高学年の部
 - 中学生の部 親子の部 三世代の部

競技の規定

- ① 札は15・14・15枚で3段に（上段、中段、下段）にして行う。
- ② 常に上段に札があり、また残り3枚になったらすべて上段に並べる。
- ③ チーム内で持ち札が2枚以上差がつかないようにし（差は1枚）、親が常に多く持つ。
- ④ 一方のチームの残り札が2枚となったときは「一人あがり」とするが、そのチームの誰が残るかは自由とする。
- ⑤ 一方のチームの残りの札が1枚となったときは、もう一人あがりとし、1人对1人で行う。
- ⑥ お手つきは向かいの対戦相手から札をもらうこと。
- ⑦ 試合中の姿勢は、読み札が読まれるまでは両手はひざより前に出さないこと。
- ⑧ 札を対戦者が同時にとった場合は審判に判断をしてもらい、審判がない場合はジャンケンで決めること。

特徴・秘密

一般的にいろはカルタは44枚ですが、くしろふるさとカルタは札数が88枚と多く、語頭だけで絵札をとろうとすると、思わずお手つき！これが難しくて実に楽しい魅力！。絵柄の似ている絵札、たとえば、幣舞橋の絵札が6枚もあって、絵札を漫然と取ると、お手つき！読み句を最後まで聞かなければなりません。これが、集中力強化、認知症予防に疑いなし！

絵札の裏には詳しい解説文が書かれ、「へえ～なるほど」の88連続。新鮮な疑問と感動の嵐に巻き込まれます。釧路地方を知る社会科教材としてもおすすめ！

寄せられた読み札応募の内容は、釧路湿原、霧多布湿原、夕日、海霧、幣舞橋、タンチョウ、食文化が多くを占め、小学生から80歳代と応募年齢層も厚い！